

2013年2月28日発行 No.40

## 薬害イレッサ 最高裁に公正判決の要請書を！

2002年に承認された抗がん剤イレッサは、同年12月までに180名もの死亡者をだし、2004年までに死亡者557名という被害をおこしました。

1審判決は、短期間にこれだけの被害をだしたのは薬の情報に何らかの欠陥があったことは容易に考えられる、と企業（東京地裁は国も）の責任を認めました。しかし、高裁では逆転敗訴となり、薬害イレッサ訴訟は最高裁にまできています。

最高裁は口頭弁論がありません（書面審理のみ）。支援は月例で最高裁前のピア配布と署名や要請書の提示をおこなっています。支援者としてはこれだけが、見えない審理に公正な判決をもとめる行動となっています。

被害の実態を裁判官に示し、公正な判決をだして欲しい、と思われている方は、是非、要請書を書いてください。3月年度末までに、たくさんの要請書を最高裁に提示し、これまでの薬害裁判の教訓が活かされる社会を求めていきましょう！

要請書の詳細の問い合わせ（書き方なども）と提出は

⇒たくみ外苑薬局 問まで<takumi@gaiki.net>

支援弁護団を経由して最高裁に持っていきます。



『薬害イレッサ訴訟の公正判決を求める要請署名』の取り組みにご協力ください！

☆署名用紙はこちらからもダウンロードできます☆

<http://www.gaiki.net/yakugai/gef/signature.html>

（外苑企画商事>薬害根絶>薬害イレッサ書庫 内）

## ☆薬いろいろ話-根絶の会会議より-☆

❖薬害根絶の会会議では、薬害裁判の支援についてはもちろんですが、身近で感じる、薬の「これってどうなの？」という話題を取り上げています。今回から少しずつ「薬いろいろ話」として紹介したいと思います。

No1：メマリー（NMDA受容体拮抗薬-アミガマ-型認知症治療薬）

利益相反研究会において-メマリーはSIB-Jスコアを4点上げ、ラット間で有意差が見られた⇒これを見てメマリーは効果あるといえますか？否、SIB-Jスコアは100点満点ですから、これで効果ありには疑問です。しかし実際はどうでしょうか？疑問に持ったでしょうか？医師が大半の研究会で「おー」という囁きに、正しい薬の情報の重要性を感じる時間でした。

No2：ムコスタ点眼液 UD2%（ムコ产生促進剤-ドライアイ治療剤）

承認審査会の記録から-「1%でも十分な効果なのに2%製剤とした納得いく理由は？」という委員が、最終的に別の委員に「2%が望ましくない明解な理由があれば提示してほしい」というやり取りで1%十分説はお蔵入り。このやりとりおかしくないですか？でも他の薬でもあるんですよね。

No3：次はどんな「薬いろいろ話」がでてくるやら…

薬害イレッサ訴訟パンフレットができました♪

1冊200円の5冊単位ですが、職場で、患者さん向けに…有料なのでカンパという形でも…是非手にとって、読んでみて（読んでもらって）ください。

薬害イレッサ書庫でパンフレット注文書ゲットできます。

<http://www.gaiki.net/yakugai/gef/index.html>

